

## 平成29年度 兵庫陶芸美術館運営委員会 議事概要

日 時：平成29年8月3日（木）13:30～15:30

場 所：兵庫陶芸美術館 談話室

出席者：運営委員7名、県芸術文化課1名、兵庫陶芸美術館9名

### 【報告、協議事項】

- 平成28年度事業実施結果、平成29年度事業計画
- 今後の特別展等、運営のあり方について

### 【意見】

[日本六古窯として日本遺産認定を受けて]

- 日本六古窯の1つとして、日本遺産認定を受けたので、今後さらなる里の活性化をめざすには、最古の登窯を中心に、美術館・組合・市・ボランティアが連携を深め、力を合わせ、地域に人を呼び込むことが重要である。

[丹波焼の里と篠山城下町を結ぶ直通バスの運行について]

- 昨年の実績として、乗客数を見ると厳しい状況であるが、今年度、春の乗客数は昨年のほぼ2倍となっている。篠山の城下町を訪れた人が美術館まで周遊できるように、それぞれの見所を活かして、丹波焼の里への集客に努めてもらいたい。

[現代陶芸の作品展示について]

- 世界の現代陶芸作品には面白い作品が沢山あり、国内の美術館にも多く所有されているので、例えば、陶磁ネットワーク会議の館同士で、海外の現代陶芸などの館蔵品を貸し借りして、展覧会を企画してみてはどうか。そうした場合に、できれば新聞社に入っただけ、巡回展方式にすれば経費的にも良いのではないか。

[ワークショップ等の取り組みについて]

- ワークショップなどの講座を多数実施されていることに感心した。ワークショップや学社連携事業、大学との連携事業等、若い世代を対象とした事業の継続に努めてもらいたい。
- 篠山市で子ども向けの茶道教室を開催したところ、非常に多くの申込みがあり、子どもが伝統文化に興味を持っていることを実感した。茶道教室と陶芸教室を組み合わせた事業も検討したい。美術館でも、子ども達が親しめる機会を提供して欲しい。

[SNS等への対応について]

- SNSで投稿を促すため、写真撮影場所を提供するなど、新しい動きに対応するよう知恵を絞って欲しい。